

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ONE STEP
住 所	那覇市首里赤平町2-12-17
電話番号	098-911-0188

事業所番号	4701-629288-3
管理者名	花村 昭良
対象年度	R6年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		20 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	6	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					



（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

合計
110 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

19,425

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

4,816

人

利用者の1日の平
均労働時間数

4

時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

1,755,600

円

利用者に支払った賃金
総額

9,505,764

円

収支

▲ 7,750,164

円

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

18,853,282

円

利用者に支払った賃金
総額

15,795,008

円

収支

3,058,274

円

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

6,710,939

円

利用者に支払った賃金
総額

18,520,765

円

収支

▲ 11,809,826

円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（R6年度）における取組（全体表「Ⅲ」多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨
に関する制度を定めている☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を
定めている☐

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を
定めている☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を
定めている☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている☐

（Ⅳ）支援力向上

前年度（R6年度）における取組（全体表「Ⅳ」支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

☒

◎外部研修、もしくは内部研修を

1回以上実施している。

☒

※研修名 R6年度就業支援基礎研修

研修講師 障害者職業支援センター

実施日・受講者数 8月26日 6人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において

1回以上発表している

☒※研修、学会等名 全国福祉事業所オンライン事例検討会
実施日 3月12日、3月19日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ A型からの就労における取り組みの工夫について

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

☒

※先進的事業者名 あおぞらボコーレション

実施日/参加者数 8月2日 8人

※他の事業所名 A型事業所 コネクトスクール

実施日/参加者数 2月3日 10人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上
参加している☒

※商談会等名 Web SNS活用Expo

主催者名 RX Japan株式会社

日時 2024年 7月 5日

内容 SNSマーケティングの最新技術事例や
企業との商談会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

☒

◎当該人事評価制度を周知している

☒

人事評価制度の制定日 2021年 11月 1日

人事評価制度の対象職員数 4名

うち昇給・昇格を行った者 4名

当該人事評価制度の周知方法
キャリアパス表の公表、会議

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

☐

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている

☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、

経営改善計画書へ提出した。

☒

※受理日 2024年 7月 19日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所 ONE STEP
住 所	沖縄県那覇市首里赤平町2丁目12-17
電話番号	098-911-0188

事業所番号	4701-629288-3
管理者名	花村 昭良
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

<実施日>2024年4月～

<対象利用者>5～7名

<作業内容>

■SNS運用：

企業様のSNSアカウントの運用サポートのお仕事をこなしています。画像や動画の作成、情報発信を行い企業の認知度拡大や売上等へ貢献するお仕事に取り組んでいます。

■MEO運用作業：

Googleマップ検索で企業様の店舗を上位表示させる対策を行っています。店舗情報最適化、口コミ管理、投稿などで集客力向上のサポートに取り組んでいます。

<目的>

■地域連携活動の目的

<施設外就労機会の創出>

障がいを持つ方々が一般企業で活躍できるよう、実際の職場に近い環境での就労体験を提供します。

障がい者支援への理解促進：地域社会における障がい者支援への認知度を高め、理解を深めることを目指します。

参加者の方々のメリット

<一般就労への意欲と能力の向上>

実際の職場環境での作業を通じて、一般就労に必要なスキルを磨き、就労意欲を高めます。

<成果>

チームワークが重視される作業環境において、メンバー間の相互尊重と支援が顕著になり、協力体制が確立されてきました。特に、経験者が未経験者を指導する体制が円滑に機能し始めており、チーム全体のスキルアップに繋がっています。また一般就労に向けての意識も向上し、卒業につながる就労支援を行うことができた。

<活動の様子>



Instagramに投稿用の画像を作成しています



MOEに関するお仕事をチームで取り組んでいます

連携先の企業等の意見または評価

■連携した結果に対する意見または評価

皆様の積極的な取り組みと、期待を遥かに上回るご活躍に、心から感謝申し上げます。今後も、これまでの経験を活かし、更なる発展を目指していただきたく、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

■今後の連携強化に向けた課題

冬の時期になると、メンタル不調を理由とした休みや遅刻が増加する傾向が見られました。この課題に対し、今後の連携強化に向け、従業員一人ひとりが心身ともに健康に働ける職場環境を整えたり、利用者さんの特性への理解について知識を深めていきたい。

連携先企業名	(株)Mango Farms	担当者名	大森亮介
--------	----------------	------	------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所 ONE STEP
住 所	沖縄県那覇市首里赤平町2丁目12-17
電話番号	098-911-0188

事業所番号	4701-629288-3
管理者名	花村 昭良
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>	<活動の様子>
講演会の開催 「就労意欲向上&スキルアップのための講演会」 開催日時：2025年1月30日(木)10:30～12:00 講演者：奈良県立医科大学 研究教授：梅田智広 関連ホームページ： https://www.mbtlink.com/company/tomohiro-umeda/ https://www.narmed-u.ac.jp/university/kanrenshisetsu/sangakukan/staffshokai.html	
<目的>	
・参加者自身の健康状態への関心を高め、日々の生活習慣を見直すきっかけを提供し、就労に向けての意欲向上。 ・「未病」という概念を理解し、早期の健康管理の重要性を認識してもらう。 ・具体的な健康管理の方法を学び、日常生活で実践できるよう促す。	
<成果>	
今回の講演では、参加者の皆様が「未病」という概念を深く理解し、日々の健康管理がいかに重要であるかを認識するという、大きな成果を上げることができました。参加者は、最新のICT技術が健康管理に役立つことを具体的に知ることで、テクノロジーを活用した健康管理への関心と理解を深め、健康管理アプリ等の活用を通してデジタルスキルの向上も促進されました。 健康に関する基礎知識やデータ分析、情報リテラシーといった、自己管理能力を高めるための重要な知識と技術が提供されたことで、参加者は自身のライフスタイルを分析し、健康的な生活習慣を確立するための問題解決能力を養うことができました。特に、就労する上で不可欠な体調管理を自身で行えるようになることは、参加者が自信を持って就労に取り組む上で大きな意義を持ちます。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回の講演は、就労継続支援A型事業所の利用者の方々の健康意識と就労意欲を高める上で、非常に有意義な機会となりました。私自身、講演を通じて多くの気づきと学びがありました。体調管理が就労に与える影響についての話題は、参加者の方々の共感を呼び、自身の健康状態をコントロールすることで、自信を持って働きたいという意欲を高めることができたと感じています。これは、就労継続支援A型事業所の重要な目標達成に貢献できたものと考えられます。	
連携先企業（担当者）	奈良県立医科大学 研究教授：梅田智広

利用者からの意見・評価

Aさん 生活習慣が健康に影響すると改めて感じました。電力データで自分の生活が見える化されるのが面白かったです。少しずつ改善したいです。 Bさん 今回の講演は自分自身の健康について考える良いきっかけになりました。今日学んだことを活かして、少しずつ生活習慣を改善していきたいと思います。 Cさん 体調を崩しがちで、働くことに自信がなかったけど、この講演で自分の生活リズムや体調の変化を客観的に見られることを知って、体調管理ができるかもしれないと思いました。体調を自分でコントロールできれば、もっと安定して働けるんじゃないかと希望が持てました。
--